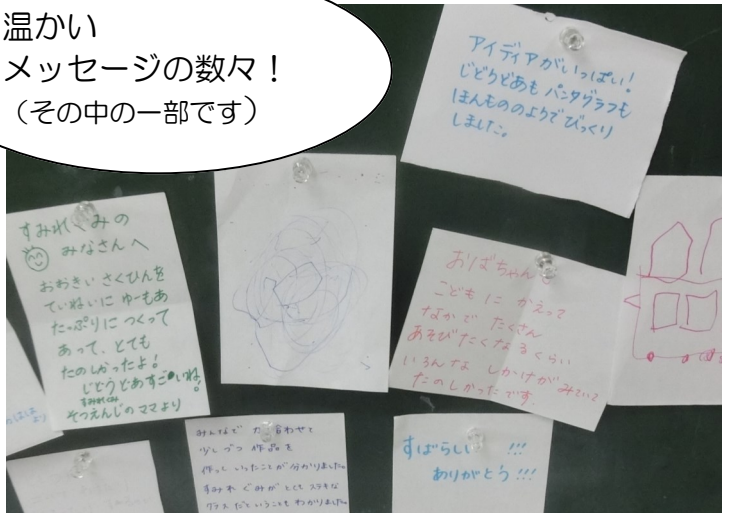




温かい
メッセージの数々！
(その中の一部です)



園まつりの当日まで、「まだドアが終わっていない!」「壊れたタイヤつけなきゃ」と言いながら夢中で作り続ける子がいるくらい、園まつりへの意欲が高まっていたすみれ組。

園まつり明けの昨日、みんなで思い出を振り返ってみました。すると、単なる「楽しかった」「嬉しかった」ではなく、「タイヤが回るようになってよかった〜」「自動ドア、最初無理かな〜って思ったけど、本当にできたね!」「もうさ、タイヤ間に合わないかと思ったけど、間に合ってたよ〜」「金庫のお金、多すぎると思ったけど、意外とちょうどいい量だった♪」といった会話が飛び交いました。自分たちで一生懸命取り組んできたからこそこの話題。子供たちの“やりきった!大成功!”という表情に頼もしさを感じながら、「ほんとだね〜」「そうだよ〜」と一つ一つの発言に私も頷きながらそのやりとりを聞いていました。

また、入口に設置しておいたポストに、お客様が入れてくださったお手紙をみんなに紹介しました。“アイデアがいっぱい!自動ドアやパンタグラフも本物のようでビックリしました”“みんなで力を合わせたから、とてもかっこいいものができて、私も感動しました”などなど、様々なメッセージをいただきました。すみれ組の保護者の皆様だけでなく、年少さん、年中さんのお母様や、卒園生のお母様、お兄さんお姉さん、小さいお友達(点や線、図形で一生懸命気持ちを表してくれていました)からもお手紙が入っていたり、「すごい!」と褒めてもらうだけでなく「ありがとう!」という感謝の言葉までいただいたり……。満ち足りた表情でメッセージを聞く子供たちに、私もとても幸せな気持ちになりました。

中には“電車の中に入ったら、お化けがいっぱいてビックリしました!”というメッセージも。『外側は電車に見せかけておいて、中に入ったらお化け屋敷。その方がビックリするから!』というコンセプトでやってきた子供たちにとって、ねらい通り驚いてくれた人がいることを知り本当に嬉しかったようです。

何となくは感じていた手ごたえが、お客様からのメッセージを聞いて確信に変わり、達成感や喜び、自信が何倍にも膨らんだようです。

子供たちへの温かい声、温かいまなざしの数々、本当にありがとうございました。